



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場会社名 ヨシコン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5280 URL <http://www.yoshicon.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田立志  
 問合せ先責任者(役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 吉田尚洋 (TEL) 054-205-6363  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	10,407	△16.4	1,289	8.8	1,289	5.1	825	△4.4
28年3月期第3四半期	12,445	30.8	1,185	62.4	1,226	65.0	864	83.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 872百万円(1.4%) 28年3月期第3四半期 859百万円(68.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	114.10	—
28年3月期第3四半期	116.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	30,751	14,819	48.2
28年3月期	26,810	14,216	53.0

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 14,814百万円 28年3月期 14,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
29年3月期	—	0.00	—		
29年3月期(予想)				27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	30.7	3,500	68.4	3,500	64.7	2,050	21.5	286.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

なお、平成28年9月28日付でヤマナカ株式会社の全株式を取得し、連結の範囲に含めております。また、平成28年9月29日付で山中缶詰株式会社に名称変更しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	8,030,248株	28年3月期	8,030,248株
29年3月期3Q	809,106株	28年3月期	729,871株
29年3月期3Q	7,236,985株	28年3月期3Q	7,406,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済・金融政策に手詰まり感はでてきたものの企業収益は堅調に推移し、雇用状況も安定しており、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、アジア新興国の景気減速懸念や米国の大統領選後の為替・株式相場の不安定など景気の下振れリスクが見られ、先行きに対する不透明な状況が続いております。

当社グループが属する不動産業界では、企業の設備投資意欲も安定した状況で推移し、住宅取得意欲も底堅く感じられるものの建築価格の高騰による分譲マンションの割高感から一部契約までが長期化する傾向にありました。このような環境下にあつて、当社グループの不動産事業分野では、当期引渡予定の新規分譲マンションや分譲宅地などの販売に着手し、購入者メリットを企画提案する企業誘致活動を積極的に推進してまいりました。

また、建設土木業界に属する環境事業分野では、営業エリアを拡大しながら建築部材の受注活動を強化推進してまいりました。そのような中、一部建築部材の出荷も本格化されました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は104億7百万円（前年同四半期比16.4%減）、営業利益は12億89百万円（前年同四半期比8.8%増）、経常利益は12億89百万円（前年同四半期比5.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億25百万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結累計期間より、報告セグメントにおいて、「インフラ事業」を「マテリアル事業」に名称変更しております。

#### ①レジデンス事業

レジデンス事業におきましては、新規分譲マンションや在庫分譲マンションの引渡しが行われたものの、当期引渡予定の新規分譲マンションの販売費がかさみ、減収減益となりました。

この結果、売上高は18億14百万円（前年同四半期比55.9%減）、セグメント損失(営業損失)は88百万円（前年同四半期は5億81百万円セグメント利益）となりました。

#### ②不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、太陽光発電関連製品の販売や富士市の賃貸収益物件や島田市、静岡市及び焼津市の商・工業施設用地の引渡しが行われ増収増益となりました。

この結果、売上高は40億20百万円（前年同四半期比10.0%増）、セグメント利益(営業利益)は13億17百万円（前年同四半期比85.6%増）となりました。

#### ③賃貸・管理等事業

賃貸・管理等事業におきましては、賃貸収益物件売却による賃貸収入や売電収入の減少により減収減益となりました。

この結果、売上高は14億17百万円（前年同四半期比16.1%減）、セグメント利益(営業利益)は3億33百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。

#### ④マテリアル事業

マテリアル事業におきましては、土木部材の販売が減少しましたが、建築部材、生コンクリート取扱いや商品売上が増加したことにより増収増益となりました。

この結果、売上高は29億5百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント利益(営業利益)は1億81百万円（前年同四半期は2億10百万円セグメント損失）となりました。

#### ⑤その他

その他事業におきましては、飲食店の新規開店や缶飲料製造により売上高が増加しましたが、それらによる初期費用などがかさみ増収減益となりました。

この結果、売上高は2億49百万円（前年同四半期比110.6%増）、セグメント利益(営業利益)は2百万円（前年同四半期比92.4%減）となりました。

なお、記載金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は307億51百万円（前連結会計年度比14.7%増）となりました。

流動資産は、販売用不動産や未成工事支出金などが増加したことにより、258億62百万円（前連結会計年度比17.9%増）となりました。固定資産は土地などの増加により、48億88百万円（前連結会計年度比0.4%増）となりました。

(負債)

流動負債は、1年内返済予定の長期借入金や未払法人税等などが減少したものの、支払手形及び買掛金や短期借入金などが増加したことにより、136億58百万円（前連結会計年度比41.3%増）となりました。固定負債は、長期借入金の減少などにより、22億73百万円（前連結会計年度比22.4%減）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は148億19百万円（前連結会計年度比4.2%増）となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は48.2%（前連結会計年度比4.8ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年3月期の業績予想について、現時点では、平成28年4月28日公表の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,306,899	1,359,652
受取手形及び売掛金	958,171	1,095,216
商品及び製品	1,311,641	572,847
仕掛品	4,407	6,397
原材料及び貯蔵品	30,368	46,680
販売用不動産	17,982,806	21,768,920
未成工事支出金	49,047	503,904
その他	306,371	515,899
貸倒引当金	△8,187	△6,600
流動資産合計	21,941,525	25,862,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,214,813	1,198,919
土地	2,232,202	2,461,934
その他(純額)	435,194	438,491
有形固定資産合計	3,882,210	4,099,345
無形固定資産	72,031	63,274
投資その他の資産		
その他	980,211	798,449
貸倒引当金	△65,450	△72,094
投資その他の資産合計	914,761	726,355
固定資産合計	4,869,003	4,888,975
資産合計	26,810,528	30,751,894
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	763,493	1,225,858
短期借入金	6,410,650	10,404,300
1年内返済予定の長期借入金	865,281	326,729
未払法人税等	816,965	129,962
賞与引当金	51,020	23,299
役員賞与引当金	100,000	—
その他	656,231	1,548,268
流動負債合計	9,663,642	13,658,418
固定負債		
長期借入金	1,937,824	1,459,170
退職給付に係る負債	32,819	29,959
資産除去債務	10,026	10,218
その他	950,093	774,636
固定負債合計	2,930,763	2,273,983
負債合計	12,594,405	15,932,402

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,468,687	3,468,687
利益剰余金	11,021,407	11,671,955
自己株式	△384,510	△477,986
株主資本合計	14,205,584	14,762,656
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,229	52,309
繰延ヘッジ損益	△6,196	△815
その他の包括利益累計額合計	6,032	51,493
非支配株主持分	4,505	5,341
純資産合計	14,216,123	14,819,491
負債純資産合計	26,810,528	30,751,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	12,445,205	10,407,511
売上原価	9,889,802	7,640,291
売上総利益	2,555,403	2,767,220
販売費及び一般管理費	1,369,914	1,477,492
営業利益	1,185,488	1,289,727
営業外収益		
受取利息	1,958	215
受取配当金	7,742	11,259
仕入割引	20,878	17,396
匿名組合投資利益	35,801	21,769
受取手数料	3,493	4,239
その他	28,087	16,453
営業外収益合計	97,961	71,332
営業外費用		
支払利息	51,826	45,581
その他	4,731	25,517
営業外費用合計	56,558	71,098
経常利益	1,226,891	1,289,961
特別利益		
固定資産売却益	5,509	97
投資有価証券売却益	7,618	1,774
受取損害賠償金	103,832	—
特別利益合計	116,960	1,871
特別損失		
固定資産除却損	14,305	10,116
特別損失合計	14,305	10,116
税金等調整前四半期純利益	1,329,546	1,281,716
法人税、住民税及び事業税	444,535	640,978
法人税等調整額	20,305	△185,854
法人税等合計	464,841	455,124
四半期純利益	864,704	826,592
非支配株主に帰属する四半期純利益	500	835
親会社株主に帰属する四半期純利益	864,204	825,756

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	864,704	826,592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,005	40,080
繰延ヘッジ損益	1,205	5,380
その他の包括利益合計	△4,800	45,461
四半期包括利益	859,904	872,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	859,403	871,218
非支配株主に係る四半期包括利益	500	835

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理 等事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,111,084	3,655,053	1,689,172	2,871,626	12,326,936	118,269	12,445,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	10,337	—	10,337	137,669	148,006
計	4,111,084	3,655,053	1,699,509	2,871,626	12,337,273	255,939	12,593,212
セグメント利益又は損失(△)	581,918	709,969	354,307	△210,301	1,435,894	30,706	1,466,601

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,435,894
「その他」の区分の利益	30,706
セグメント間取引消去	370
全社費用(注)	△281,483
四半期連結損益計算書の営業利益	1,185,488

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理 等事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,814,719	4,020,957	1,417,398	2,905,386	10,158,461	249,049	10,407,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4,836	622,121	626,958	226,455	853,413
計	1,814,719	4,020,957	1,422,235	3,527,508	10,785,420	475,504	11,260,924
セグメント利益又は損失(△)	△88,286	1,317,542	333,197	181,454	1,743,908	2,327	1,746,236

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,743,908
「その他」の区分の利益	2,327
セグメント間取引消去	△164,239
全社費用(注)	△292,269
四半期連結損益計算書の営業利益	1,289,727

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結累計期間より、報告セグメントにおいて、「インフラ事業」を「マテリアル事業」に名称変更しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。